

## (臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### [研究課題名]

当院における腹腔鏡下子宮全摘術の導入と検討

### [研究責任者]

江南厚生病院 産婦人科 松川泰

### [研究の概要]

腹腔鏡下手術は開腹手術に比べ低侵襲であり、術後疼痛の軽減、入院期間の短縮など多くの利点を有し近年増加している。婦人科領域においては良性疾患ならびに子宮頸癌、子宮体癌に対しても腹腔鏡下手術が保険適用となりその適応が拡大している。当院ではこれまで良性疾患の子宮全摘術として腹式単純子宮全摘術 (Abdominal Total Hysterectomy : ATH) を選択することが多く、症例数は少ないが腹腔鏡下手術を選択する際には腹腔鏡補助下腔式子宮全摘術 (Laparoscopic Assisted Vaginal Hysterectomy : LAVH) を行っており腔壁切開、膀胱剥離、基靭帯切断、腔壁縫合を腔式にて行っていた。今回我々は腹腔鏡下子宮全摘術の適応を拡大し安全な手術を行うため、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医 (以下、技術認定医) の指導を受ける環境を整え腹腔鏡下子宮全摘 (Laparoscopic Hysterectomy : LH)、全腹腔鏡下子宮全摘術 (Total Laparoscopic Hysterectomy : TLH) を開始した。導入から現時点までの腹腔鏡下子宮全摘術の方法、手術成績について検討を行った。

### [研究の方法]

- 対象となる患者さん

2018年1月から2019年12月の間に当院にて腹腔鏡下子宮全摘術を実施した患者。

●利用するカルテ情報

年齢、診断病名、身長、体重、分娩歴、手術時間、出血量、摘出物重量、術中および術後合併症など

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 産婦人科 松川泰

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337